



地理空間情報活用推進行動計画(G空間行動プラン)2019(案)の概要

内閣官房 地理空間情報活用推進室

令和元年6月



1. 第3期地理空間情報活用推進基本計画の概要

第3期地理空間情報活用推進基本計画の目的

地理空間情報活用推進基本法に基づく、第3期地理空間情報活用推進基本計画（平成29年度～令和3年度）では、地理空間情報活用技術を第4次産業革命のフロントランナーとし、一人一人が「成長」と「幸せ」を実感できる新しい社会が実現できるよう5つの目標を定め、その実現のための施策を推進する。

第3期地理空間情報活用推進基本計画における5つの目標

国土を守り、一人一人の命を救う

- 準天頂衛星システムを活用した避難所等における防災機能の強化
- 津波浸水被害推計システムの運用

多様で豊かな暮らしをつくる

- 屋内空間における高精度測位環境づくりの促進
- G空間情報センターを活用した大規模イベント来場者等の移動支援

新時代の交通、物流システムを実現する

- 高度な自動走行システムの開発・普及の促進
- 準天頂衛星を活用した無人航空機物流事業の促進

地方創生を加速する

- 農業機械の自動走行技術等の開発・普及の促進
- i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進

G空間社会を世界に広げる

- 電子基準点網及び準天頂衛星システムを活用した高精度測位サービスの海外展開
- 地理空間情報の循環システムの形成

G空間プロジェクトがつくる未来



地理空間情報についての世界最先端の技術を高度に活用できる社会を実現することで、
国民生活の安全・安心の確保と経済成長を実現



2. 地理空間情報活用推進行動計画(G空間行動プラン)2019(案)の概要

地理空間情報活用推進行動計画(G空間行動プラン)

- 地理空間情報活用推進基本計画に基づき各府省において推進する具体的施策の当該年度の実施内容等を取りまとめ、公表
- 毎年度、行動プランの策定及びそのフォローアップを行い、PDCAサイクルにより、地理空間情報の総合的・計画的な活用を推進
- G空間行動プラン2019(案)では、13件のシンボルプロジェクトを含め、全体で134件の施策を総合的に推進

G空間プロジェクトのPDCAサイクル

地理空間情報活用推進基本法
(平成19年 法律第63号)

地理空間情報活用推進基本計画
(第3期:平成29年度～令和3年度)
(平成29年3月24日 閣議決定)

地理空間情報活用推進行動計画(G空間行動プラン)
(毎年度)
(平成30年度より推進会議決定)

フォローアップ
(5年ごと)

フォローアップ
(毎年度)

施策の実施

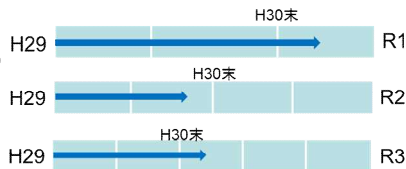
平成30年度 フォローアップ

総施策数 **133 件**

内 前年度から引き継がれた施策数 120件
(平成29年度に終了した施策8件は除く)

新規に追加された施策 13件

令和元年度期限のKPIの平均達成率 : **78 %**
令和2年度期限のKPIの平均達成率 : **40 %**
令和3年度期限のKPIの平均達成率 : **46 %**
(定量的な目標値のものに限る)



令和元年度 実施施策

総施策数 **134 件**

内 前年度から引き継がれた施策数 130 件
(平成30年度に終了した施策3件は除く)

新規に追加された施策 4 件

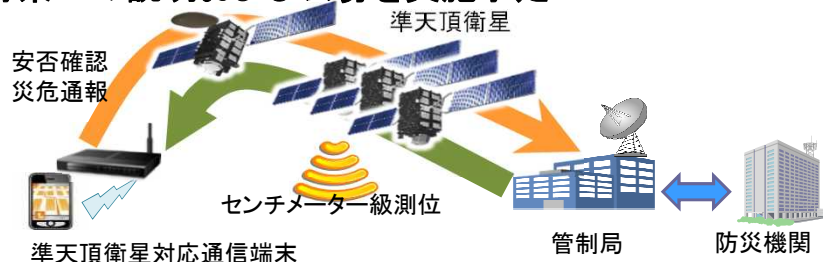
G空間行動プラン2019(案)におけるシンボルプロジェクトの施策例



準天頂衛星システムを活用した避難所等における防災機能の強化

【令和元年度実施内容】

- ・衛星安否確認サービスの都道府県への導入に向けて、引き続き、各都道府県への説明および公募を実施予定



KPI設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
利用モデル地域の避難所への安否確認サービスの導入状況(導入都道府県数)	令和3年度: 20都道府県	7県

準天頂衛星を活用した無人航空機物流事業の促進

【令和元年度実施内容】

- ・衝突回避が可能となる自律飛行技術を実装した運航管理システムの実証試験を福島ロボットテストフィールドと離島で実施予定
- ・衝突回避ルールの基本方針について、検討会や国際的な動向等を踏まえながら、妥当性評価を実施



KPI設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
準天頂衛星を活用した無人航空機による物流事業の実用化	令和2年度: 実用化	・地上試験を福島ロボットテストフィールドで実施 ・小型化・軽量化を実施

農業機械の自動走行技術等の開発・普及の促進

【令和元年度実施内容】

- ・遠隔監視による農機の自動走行技術実現に向けた無人化システムの開発や安全確保、無人で安全にほ場間移動をするために必要な技術等を検証する取組を実施
- ・「スマート農業」の社会実装を加速化するため、先端技術を生産現場に導入し、生産から出荷まで一貫した体系として実証を実施

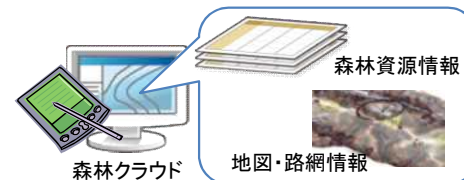


KPI設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
・ほ場内での農機の自動走行システムを市販化 ・遠隔監視での無人システムを実現	・平成30年度:市販化 ・令和2年度実用化	・市販化を開始

地理空間情報とICTを活用した林業の成長産業化の促進

【令和元年度実施内容】

- ・森林クラウドの基盤となる森林資源情報と森林所有者情報の精度向上等を推進
- ・新たに森林クラウドを導入する都道府県に対して支援を実施



KPI設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
森林情報を共有するシステム(森林クラウド)の導入自治体数	令和3年度: 5都道府県	8県



G空間行動プラン2019(案)に掲げられた全てのG空間プロジェクト(計134施策、終了施策を除く)について、戦略的な取組みの推進を図るべく、新たにKPI(成果指標、Key Performance Indicators)を設定し、フォローアップを実施。

1 地理空間情報を高度に活用するための基盤と環境の整備

※()内は施策別概要集の整理番号

施策名	KPIの設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
実用準天頂衛星システム事業の推進(13)	準天頂衛星システムの衛星機数	令和5年度メド:7機体制	4機体制運用開始
防災・減災に役立つ主題図(活断層図等)のデータ整備・提供(34)	防災地理情報(活断層図)の整備	令和3年度:74%	68%

2 高精度な地理空間情報の高度な活用

施策名	KPIの設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
農業の生産性革命に向けた革新的技術開発事業(54)	栽培管理ソフト活用等による農繁期の労働ピークの平準化、実証経営体の収益向上率	令和2年度: 収益1割向上する 技術を開発	リモートセンシングを活用した栽培管理技術の開発を実施



3 暮らしの中で実感できる地理空間情報の活用

施策名	KPIの設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
プローブ情報の活用による災害時の交通情報サービス環境の整備(70)	交通管制センターにプローブ情報収集機能が導入されている都道府県数	令和元年度: 全都道府県警	42都道府県警
被災状況解析・共有システムの開発(戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)国家レジリエンス(防災・減災)の強化)(59)	衛星データ等を用いて、一定の条件下において、被害状況を政府の防災活動に資する技術を開発	令和4年度: 発災後2時間以内に観測・分析・解析する技術を開発	新規登録

4 地理空間情報の活用による海外展開・国際貢献

施策名	KPIの設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
実用準天頂衛星システムの海外展開と国際協力の推進等(111)	衛星測位サービス及び補強サービスの利用可能な国数	令和3年度:2か国	アジア・太平洋地域にて準天頂衛星システムを活用した実証等を実施

5 地理空間情報の整備と活用を促進するための総合的な施策

施策名	KPIの設定事項	目標年次・目標値	平成30年度進捗
防災・減災教育の推進と協調した地理教育の充実(124)	「地理教育の工具箱」の年間アクセス数	令和3年度: 2万ページビュー	1.6万 ページビュー